

【目次】

はじめに

第1章 天才的な女性詩人の悲劇——スタール夫人『コリンヌ』

女の登場人物のポルトレ

造形芸術の象徴的意味

コリンヌのギャラリー

第2章 「宿命の女」像——バルザック『砂漠の情熱』から『姉妹ベット』まで

「宿命の女」と絵画

「宿命の女」のアレゴリー——女豹ミニョンス

『従妹ベット』における「宿命の女」像

第3章 危険な「ヴィーナス」——ゾラ『ナナ』

「金髪のヴィーナス」

ナナの獣性

マネによる「真の娼婦」像とナナ

空間を浸食するナナ

第4章 モードの女王——ゾラ『獲物の分け前』

「パリ人形」としてのルネ

ルネとウジェニー皇后

「操り人形」としてのルネ

部屋と女の衣裳、裸体

第5章 「男らしさ」と両性具有

「男らしさ」の定義

ロマン主義文学における両性具有的存在

19世紀後半の文学における両性具有的存在

おわりに